

第52巻第3号（1999年1月）

〔論 文〕

社会化と労働運動

- 1920年代ヴィーンのノイラート——……………小林 純
- ナチス期のダイムラー・ベンツ……………川瀬泰史
- L. S. エイメリーの帝国構想（下）……………服部正治
- 資産の利子率と限界効率をめぐる一考察……………藤原 新
- 為替媒介通貨論と準備・介入通貨論（上）

——「流通根拠論争」以降の国際通貨論研究の問題設定めぐって——

……………徳永潤二

研究会例会報告要旨（1998年6月26日）

商業会議所のアジア経済情報ネットワーク……………須永徳武

執筆者紹介（掲載順）

- | | |
|---------------|------------------------|
| 鈴木 秀 一 | 本学経済学部教授 |
| 有 馬 賢 治 | 本学経済学部助教授 |
| Huizhong Zhou | ウェスタン・ミシガン大学
経済学準教授 |
| 徳 永 潤 二 | 本学大学院経済学研究科 |